

あさお市民活動
レポート

発行元 認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

あさお ふれんず

Asao friends

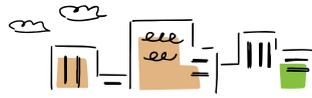
4

2023



麻生区地域 コミュニティ活動 支援事業

麻生区で活動するボランティアや市民活動団体が、地域の中で集い地域に愛着を持って、お互いの良い関係を築き、新たなコミュニティづくりを可能にする公益性の高い事業を推進するために、その事業資金の一部を支援することを目的として2008年度から実施している事業です。



2022年度 実施報告会

4月7日(金) 13時30分～16時30分
麻生市民交流館やまゆり 2階会議室

- 参加団体 (順不同)**
- あさお和風の会
 - 「和風づくりで」コミュニティ作り
 - こどもしんぶん部
 - 「こどもしんぶん
 - 特定非営利活動法人 岡上アグリ・リゾート
 - 「次世代につなげる地域資源
農と保育の農育プロジェクト
 - 音楽ユニット Pentas
 - 「Sing! Move! Smile!」コンサート
 - アートロジ麻生
 - 「アートロジ麻生
 - 総合型地域スポーツクラブ 金程中学校区
「わ・わ・わ・クラブ」
 - 「総合型スポーツクラブの認知を高め、
区域外からも新規会員を受け入れる事業

麻生区で活動を展開している団体の活動ぶりを知る良い機会です。多くの方が傍聴されてはいかがでしょうか。

(傍聴は自由です。先着 20 名)



2023年度 応募団体公開 プレゼンテーション

4月14日(金) 13時30分開始
麻生市民交流館やまゆり 2階会議室

- 参加団体 (順不同)**
- アートロジ麻生
 - かたひらほっとカフェ
 - かわさきミュージックチャレンジ
チーム「フランポネ」
 - Vege & ArtFes 実行委員会



いろいろな技法を楽しむ絵画の集い

青の会・山口台

麻生市民館アートギャラリーで作品に魅了されて取材した。水彩、パステル、油彩を問わず気ままに創作に励んでいる。

活動をはじめたきっかけは、2014年に麻生老人福祉センターで開かれた絵画教室。参加者を募って誕生した。先生は日本美術家連盟会員の小玉精子さん。描く題材は先生が持参する。取材した日は、クリスマスローズ、ルピナスなど季節の鉢植えの周りに、陶器の水鳥や枯れ木などを飾り付けた。

はじめの2時間は、生徒は自由な構図でひたすらデッサンに励み、先生は相談に答えながら各自の席を回っていく。席を立てて花に近づき、花びらの細かな重なり具合を確認する生徒の目は真剣だ。筆者はピンと張りつめた空気を感じる。次の1時間ほどは、思い思いの色合いで彩色し仕上げていく。ここまで来ると場の雰囲気徐徐に和らぎ、世間話もはじまった。

最後の30分ほど、先生はたっぷり時間をかけて講評しながら、構図の取り方、遠近感や陰影の付け方、主題を引き立てる背景の塗り方など丁寧に教えていく。

発表の場は年1回11月頃の麻生市民館アートギャラリー。発表会のあと反省を兼ねてお茶会を開く。おしゃべり好きが集まった気さくな会だ。是非一度訪ねて欲しい。

取材・文 区民記者 中島久幸



作品を並べ、先生が細かな点まで丁寧に講評する



小玉先生作品
(春の東高根森林公園)

日本の美を装う

きものを美しく着る会

“自分で着物を着る、人に着せてあげる”を目指して励んでいる会を取材した。色とりどりの和服で会場は華やいでいた。

講師は宮前区文化協会会員の小林芳子さん。もともと着物が好きで、人にも教えたいと思い資格を取った。

自分で着られるようになりたい、着物を着て出かけた、着物を着せてあげたいと願う人が居る。小林さんは「こんな人は、入学式など、ちょっとしたきっかけからはじめてみませんか？」と呼びかける。練習する着物は浴衣、普段着、訪問着から留袖、振袖まで会員が自由に持ち込み、着物の着方と、その着物に合う帯の結び方などを習う。人によって進み方が違うが、それぞれのペースでお互いに

アドバイスし合いながら練習できる。和服はふっくらした人ほど似合うといわれるが、この会では一人一人に合う着方を習えるので安心だ。個人差はあるが、なんとか着られるようになるには3ヶ月、着せられるには1年とのこと。

発表の場はあさおサークル祭。ここでは麻生市民館大ホールのステージショーに出演し、和室で無料の着付け教室を開く。

母からもらった着物が箆笥に眠っていて、自分で着たい、娘や孫に着せてあげたいと願う人は、是非一度訪ねて欲しい。

取材・文 区民記者 中島久幸



狐の嫁入りをテーマに(あさおサークル祭 2022. 6. 5)



それぞれが持ち込んだ着物で教わる

きものを美しく着る会

代表・講師：小林芳子
連絡先：090-5411-8391 (小林)
設立：2003年4月
会員：30名 (男性0名、女性30名)
入会金：なし
会費：3000円/2回
活動日：月曜日、火曜日各々2回10時から12時
場所：麻生市民館 和室

気軽に楽しく、スマホで撮影・編集、動画作品をアップ

あさおドーガサークル

「スマホで撮影・編集。ナレーションをつけ動画作品とし、メンバー内で楽しむ」ことを第一に活動をすすめる「あさおドーガサークル」。

あわせ、「完成」させた動画をユーチューブで配信という活動を行っている同サークル、元は、映像や撮影、表現することなどに関心が深い人たちだが、いまどき、簡単に、高度な撮影と編集ができるスマホに注目、麻生市民館の講座「動画を使ってコミュニティーション」の開催を経て、2021年5月に5人で立ち上げたもの。

現在の活動目的は、「動画で共感を呼び起こし、人がつながりながら、地域のビデオログ(動画記録)として残していく」とし、「(1)麻生地区に関する場面をスマホ動画で楽しんで作成。(2)動画を活用する人、団体に指導し、動画作成の輪を広げる。(3)麻生区の資産、魅力を周りに広げる」と記す。

「活動の基本は、気軽に、楽しく、です」というのは代表の岡倉進さん(74)。「シニアになって動画作品を作っているなんて、楽しいじゃないですか」と語る、映画大好き、数多く見てきた人。

アーカイブになっていくものとし

あさおドーガサークル

代表：岡倉 進
連絡先：044-988-2518
設立：2021年5月
会員：5名(男性3名、女性2名)
／30～80代)

会費：なし*
活動日：第4水曜日
場所：リモート会議*、LINE評価*

*コロナ禍ゆえ。今後検討。



アバター「アバコ」をキャラクターとして登場させ、「案内」する動画作品



動画作品はこちらより
あさおドーガラボ(YouTube)

て、現在、地元のHP、口コミ(新百合ヶ丘)と提携、「輝き麻生のビデオログ」として、「麻生のミニ散歩」、「四季折々」、「イベント」(どんどこ焼きほか)シリーズを作成、公開している。

会員の田代たかよしさん(75)は、若いころ「8ミリをいじった」人で、「例えば、孫からスマホに動画が送られてくる。それを作品にしていきたい」と思っている数多くの人を(会員として)拾っていききたい」と語る。

取材・文 区民記者 神澤秀夫

ボランティアと当事者のかけ橋に

あさおボランティア・当事者連絡会



1月の親睦会風景。ザ・ショウマンU&Mの漫才は大好評でした(写真提供 あさおボランティア・当事者連絡会)

あさおボランティア・当事者連絡会(以下「連絡会」という)は、ボランティアと当事者団体相互が情報を提供・交換すること、親睦を図ること、福祉活動などの取り組みの向上に協力することのほか、麻生区社会福祉協議会の活動推進に協力することを目的としている。具体的には、「連絡会だより」の発行(毎月1日)、親睦会や定例会、総会の開催(年1回)、勉強会の開催(不定期)、会員団体の紹介誌「花通信」の発行などである。

会員は、肢体や視覚・聴覚・精神等、障がいのある人、高齢者、子育てその他ハンディキャップのある人を支援するボランティア(団体及び個人)や

あさおボランティア とうじしゃれんらくかい ・当事者連絡会

代表：魚本陽子(うおもと ようこ)
連絡先：川崎市麻生区万福寺1-2-2
新百合21ビル1階
川崎市麻生区社会福祉協議会内
Tel 044-952-5500
Fax 044-952-1424
メール：info@asao-shakyo.com又は
asao.boratouren@gmail.com

取材・文 区民記者 仲原 照男

当事者団体などが中心で、51団体と個人若干名となっている(2月末日現在)。連絡会では、他の団体との接点が無いグループに交流の輪を拡げて頂きたいと入会を呼び掛けている。

「連絡会だより」には多くの情報が掲載されており、毎月末に福祉パルあさおで世話人とボランティアの人たちが一緒に発送作業を行っている。「これは三つ折り?」、「これは封筒に入れていいの?」とにぎやかで、楽しそう。「連絡会だより」末尾に開催日時が記載されているので参照されたい。同紙は麻生区の社会福祉協議会、区役所、老人福祉センター、麻生市民交流館やまゆりなどで入手できる。



親子イベントで国際交流 授産学園で開催 - Funky Kids & Mom



左から：イベントを担当する若手のホープ山崎さん、代表の百武さん、立ち上げ当初からのメンバー宮澤さん

「ファンキーキッズ&ママ」は1995年10月、国連の専門機関に勤務していた百武千文（ひやくたけちふみ）さんが立ち上げた団体。「見知らぬ土地での子育ては大変。特に言葉が通じない外国籍の親が地域で孤立しないように寄り添い、みんながつながれる場を作りたい」という思いからはじまった。

思いに共感した親子を中心に輪が広まり、地域に住んでいる未就学児とその親を対象に、親子の交流イベントや情報交換を行ってきた。多い時にはアメリカやアジア諸国から来日した外国籍の親子など約30組が参加。現在は、子育て中や、子育てが一段落した親子が15名、サポートメンバー4名で活動している。

同団体は、インドやバングラディッシュ、エチオピアなど途上国の子どもたちの里子支援も行っている。資金は、麻生スポーツセンターやホテルモリノなどで開催されるフリーマーケット（コロナ禍の影響で過去2年は中止）で得た収益。集めたお金を国内外の被災地へ送る活動や、麻生区の地域振興課とタッグを組んで多文化共生のワークショップや、国際情勢を学ぶ勉強会なども開催してきた。

百武さんは「誰もが気軽に参加でき、楽しみながら、互いに協力し、理解しあえる。そんな活動を通じ、身近なことから国際協力ができるようにしたい」と語る。

2023年4月22日（土）には、細山にある「川崎授産



2023年4月22日のポスター



申込みはQRコードから→

ファンキーキッズ アンド ママ Funky Kids & Mom

代表：百武 千文
 連絡先：chifumi@earth.email.ne.jp
 設立：1995年10月
 会員：親子15名・サポートメンバー4名
 会費：1200円/年
 活動日：不定期（1〜2ヶ月に1度定例会、イベントの打ち合わせで随時集合）
 場所：麻生区内

取材・文 区民記者 佐々木直子

当日は親子で、折り紙で「こいのぼり」をつくるワークショップを行う。催し物をきっかけに日本の伝統文化について学んだり、外国の絵本を紹介したり、親も子も一緒に楽しみながらできる国際交流を目指している。

ふれんずの輪を広げよう

区民記者が、あなたの活動取材します！



あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。原則、第2木曜日に『麻生市民交流館 やまゆり』で編集会議を行っています。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。



麻生市民交流館やまゆり

〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5

※選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

活動を紹介して欲しい

取材申込み方法

応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

申込方法

- ①団体名 ②代表者名 ③連絡先（電話・FAX・メール）
 - ④活動内容（イベントの場合は開催日時・料金・内容）
- をFAXまたはメールでご連絡ください。

イベントを取材して！

FAX 044-951-6467

MAIL info@asao-ku.net

お申込みいただいた内容については、編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。